

平成 30 年度報告 横浜市青少年育成センター

1 施設の管理運営

青少年育成活動に取り組む指導者・育成者や青少年育成団体等が、円滑な活動や先駆的な取り組みを行えるように、諸室や印刷室等の貸出を行うとともに、新たに「ユースライブラリー」を設け、青少年活動情報だけでなく、青少年に関する様々な書籍の情報も発信しました。貸室の利用状況は、関内ホールの工事に伴う一時移転の影響で利用団体が減少していますが、青少年および青少年指導者の利用率は向上することができました。併せて、利用者満足度は高水準を維持することができています。

利用団体数：2,834 件／年

稼働率：55.4%

利用団体前年度比：62.1%

【開館日数・利用状況】

年度	開館日数	利用団体	利用人数	印刷室利用	相談件数	稼働率
28	338 日	5,033 件	59,449 人	730 件	51 件	74.3%
29	325 日	3,408 件	44,258 人	410 件	40 件	62.1%
30	325 日	2,834 件	37,918 人	396 件	71 件	55.4%

※平成 29 年 12 月～30 年 9 月まで関内ホール工事のため、仮施設で運営しました。

2 施設の主な事業

(1) 青少年を支える人材の育成（講座・研修、ネットワーク形成の実施）

青少年を支える地域人材の育成について、これまでの成果と課題を踏まえながら、講座・研修や青少年育成団体間の交流会などに取り組みました。

講座・研修では、横浜市内で開催されている青少年関係の研修会や講座の情報を収集し分析を行い、育成センターの役割について整理しました。また、社会的課題やニーズに応じた研修・講座を提供するために人材育成事業の見直しを行い、「SNSを活用した広報講座」や「ホワイトボードミーティング」など新規に実施したほか、ニーズの高い「発達障害の理解」や「ユースコーディネーター研修」に関しては、講師やテーマを更新することで新たな視点を届けられるように工夫しました。

ネットワーク形成を目的とした「子ども・若者に関わる関係者の大交流会」や「青少年の居場所づくりフォーラム」では、多様な関係者が集まり、情報交換や関係者間のネットワークが生まれています。繋がったことで新たな活動（次の行動）に結び付いているかは把握できていない点が課題であり、事業の効果についても検証を深めていく必要があると感じています。

(2) 青少年育成活動等に関する情報の収集・提供（相談・情報提供など）

青少年活動に関する情報は、HPや情報紙を通じて発信するほか、センター内の情報スポットへの掲示や相談に対する情報提供など積極的に発信・提供しています。

また、実施する研修・講座参加者に「受講者カード」によるアンケートを実施し、参加者の地域課題や関心事項の情報収集を行いました。また、研修・講座の終了後には、参加者の活動相談を行う相談時間を設けました。

育成センターの相談窓口で対応できる内容を具体的に示し、また、相談事例や相談対応のプロセスも明示して相談者が相談しやすい環境を整備していくことが課題だと感じています。

会議室・スタジオ利用状況

月	開館 日数	減免 件数	コマ数 (a)	利用団体数(b)				稼働率(b/a)					利用人数				
				計	青少年	指導者	一般	コース	全体	青少年	指導者	一般	コース	計	青少年	指導者	一般
累計	330	299	5,118	2,334	197	1,028	1,408	201	55.4%	3.8%	20.1%	27.5%	3.9%	41,066	5,176	18,400	17,490
4	28	32	300	159	0	72	55	32	53.0%	0.0%	24.0%	18.3%	10.7%	2,701	247	1,629	825
5	29	25	306	161	2	75	65	19	52.6%	0.7%	24.5%	21.2%	6.2%	2,784	112	1,531	1,141
6	28	23	312	162	0	79	65	18	51.9%	0.0%	25.3%	20.8%	5.8%	3,086	318	1,642	1,126
7	29	27	312	156	0	78	57	21	50.0%	0.0%	25.0%	18.3%	6.7%	2,941	164	1,696	1,081
8	29	12	318	111	3	49	47	12	34.9%	0.9%	15.4%	14.8%	3.8%	1,857	242	1,009	606
9	20	25	216	113	0	49	49	15	52.3%	0.0%	22.7%	22.7%	6.9%	2,015	83	1,189	743
10	30	33	610	317	19	107	175	16	52.0%	3.1%	17.5%	28.7%	2.6%	4,095	486	2,008	1,601
11	29	23	578	340	17	99	212	12	58.8%	2.9%	17.1%	36.7%	2.1%	4,009	393	686	2,930
12	27	23	544	302	26	114	153	9	55.5%	4.8%	21.0%	28.1%	1.7%	3,469	609	1,351	1,509
1	27	14	544	286	26	87	165	8	52.6%	4.8%	16.0%	30.3%	1.5%	2,975	511	994	1,470
2	25	31	500	330	41	103	164	22	66.0%	8.2%	20.6%	32.8%	4.4%	4,264	474	1,632	2,158
3	29	31	578	397	63	116	201	17	68.7%	10.9%	20.1%	34.8%	2.9%	6,870	1,537	3,033	2,300

内訳

	月	コマ数 (a)	利用団体数(b)				稼働率(b/a)					利用人数				
			計	青少年	指導者	一般	コース	全体	青少年	指導者	一般	コース	計	青少年	指導者	一般
研修室1	累計	1,192	666	19	398	162	87	55.9%	1.6%	33.4%	13.6%	7.3%	23,247	2,937	11,906	8,404
	4	100	43	0	27	4	12	43.0%	0.0%	27.0%	4.0%	12.0%	1,460	195	933	332
	5	102	53	2	32	15	4	52.0%	2.0%	31.4%	14.7%	3.9%	1,870	73	1,002	795
	6	104	60	0	37	11	12	57.7%	0.0%	35.6%	10.6%	11.5%	1,990	188	1,104	698
	7	104	45	0	29	8	8	43.3%	0.0%	27.9%	7.7%	7.7%	1,705	88	1,043	574
	8	106	37	3	24	5	5	34.9%	2.8%	22.6%	4.7%	4.7%	1,099	162	640	297
	9	72	36	0	19	10	7	50.0%	0.0%	26.4%	13.9%	9.7%	1,172	35	739	398
	10	110	57	1	37	12	7	51.8%	0.9%	33.6%	10.9%	6.4%	2,019	239	1,239	541
	11	104	64	0	30	28	6	61.5%	0.0%	28.8%	26.9%	5.8%	2,072	184	400	1,488
	12	98	69	2	49	13	5	70.4%	2.0%	50.0%	13.3%	5.1%	1,836	330	843	663
	1	98	55	3	32	17	3	56.1%	3.1%	32.7%	17.3%	3.1%	1,336	236	562	538
	2	90	70	4	35	20	11	77.8%	4.4%	38.9%	22.2%	12.2%	2,142	93	1,089	960
	3	104	77	4	47	19	7	74.0%	3.8%	45.2%	18.3%	6.7%	4,546	1,114	2,312	1,120
研修室2	累計	1,192	669	15	327	282	45	56.1%	1.3%	27.4%	23.7%	3.8%	8,982	794	4,854	3,334
	4	100	57	0	28	24	5	57.0%	0.0%	28.0%	24.0%	5.0%	828	45	556	227
	5	102	54	0	26	22	6	52.9%	0.0%	25.5%	21.6%	5.9%	636	36	437	163
	6	104	57	0	27	29	1	54.8%	0.0%	26.0%	27.9%	1.0%	801	115	420	266
	7	104	56	0	27	23	6	53.8%	0.0%	26.0%	22.1%	5.8%	823	60	454	309
	8	106	35	0	16	14	5	33.0%	0.0%	15.1%	13.2%	4.7%	435	3	305	127
	9	72	35	0	18	16	1	48.6%	0.0%	25.0%	22.2%	1.4%	561	44	370	147
	10	110	64	0	30	31	3	58.2%	0.0%	27.3%	28.2%	2.7%	939	94	506	339
	11	104	75	4	37	31	3	72.1%	3.8%	35.6%	29.8%	2.9%	924	54	220	650
	12	98	54	2	31	18	3	55.1%	2.0%	31.6%	18.4%	3.1%	621	122	333	166
	1	98	58	4	23	29	2	59.2%	4.1%	23.5%	29.6%	2.0%	652	93	310	249
	2	90	62	3	27	29	3	68.9%	3.3%	30.0%	32.2%	3.3%	845	76	356	413
	3	104	62	2	37	16	7	59.6%	1.9%	35.6%	15.4%	6.7%	917	52	587	278
ミーティングルーム	累計	1,192	625	0	210	358	57	52.4%	0.0%	17.6%	30.0%	4.8%	4,389	182	1,523	2,684
	4	100	59	0	17	27	15	59.0%	0.0%	17.0%	27.0%	15.0%	413	7	140	266
	5	102	54	0	17	28	9	52.9%	0.0%	16.7%	27.5%	8.8%	278	3	92	183
	6	104	45	0	15	25	5	43.3%	0.0%	14.4%	24.0%	4.8%	295	15	118	162
	7	104	55	0	22	26	7	52.9%	0.0%	21.2%	25.0%	6.7%	413	16	199	198
	8	106	39	0	9	28	2	36.8%	0.0%	8.5%	26.4%	1.9%	323	77	64	182
	9	72	42	0	12	23	7	58.3%	0.0%	16.7%	31.9%	9.7%	282	4	80	198
	10	110	62	0	24	36	2	56.4%	0.0%	21.8%	32.7%	1.8%	481	14	190	277
	11	104	56	0	18	37	1	53.8%	0.0%	17.3%	35.6%	1.0%	369	14	44	311
	12	98	52	0	20	31	1	53.1%	0.0%	20.4%	31.6%	1.0%	375	16	153	206
	1	98	49	0	15	33	1	50.0%	0.0%	15.3%	33.7%	1.0%	345	10	122	213
	2	90	54	0	23	27	4	60.0%	0.0%	25.6%	30.0%	4.4%	395	1	187	207
	3	104	58	0	18	37	3	55.8%	0.0%	17.3%	35.6%	2.9%	420	5	134	281
和室	累計	604	207	23	92	84	8	34.3%	3.8%	15.2%	13.9%	1.3%	2,015	716	117	1,182
	4	0	0	0	0	0	0									
	5	0	0	0	0	0	0									
	6	0	0	0	0	0	0									
	7	0	0	0	0	0	0									
	8	0	0	0	0	0	0									
	9	0	0	0	0	0	0									
	10	110	30	0	15	13	2	27.3%	0.0%	13.6%	11.8%	1.8%	245	78	73	94
	11	104	36	0	14	21	1	34.6%	0.0%	13.5%	20.2%	1.0%	226	77	22	127
	12	98	23	1	14	8	0	23.5%	1.0%	14.3%	8.2%	0.0%	246	77	22	147
	1	98	26	0	17	8	1	26.5%	0.0%	17.3%	8.2%	1.0%	302	97	0	205
	2	90	43	9	18	12	4	47.8%	10.0%	20.0%	13.3%	4.4%	525	206	0	319
	3	104	49	13	14	22	0	47.1%	12.5%	13.5%	21.2%	0.0%	471	181	0	290
スタジオ	累計	938	667	140	1	522	4	71.1%	14.9%	0.1%	55.7%	0.4%	2,433	547	0	1,886
	4	0	0	0	0	0	0									
	5	0	0	0	0	0	0									
	6	0	0	0	0	0	0									
	7	0	0	0	0	0	0									
	8	0	0	0	0	0	0									
	9	0	0	0	0	0	0									
	10	170	104	18	1	83	2	61.2%	10.6%	0.6%	48.8%	1.2%	411	61	0	350
	11	162	109	13	0	95	1	67.3%	8.0%	0.0%	58.6%	0.6%	418	64	0	354
	12	152	104	21	0	83	0	68.4%	13.8%	0.0%	54.6%	0.0%	391	64	0	327
	1	152	98	19	0	78	1	64.5%	12.5%	0.0%	51.3%	0.7%	340	75	0	265
	2	140	101	25	0	76	0	72.1%	17.9%	0.0%	54.3%	0.0%	357	98	0	259
	3	162	151	44	0	107	0	93.2%	27.2%	0.0%	66.0%	0.0%	516	185	0	331

《目標設定時公表項目》 平成 30 年度 横浜市青少年育成センター

目標設定の視点	運営目標	管理指標・数値
利用者サービス	地域の青少年活動を支援するため、施設の貸出や青少年育成に関する相談や情報提供などに対応します。	①施設稼働率 70% (前年度年間目標：70%) ②相談・情報提供業務 年間 100 件 (前年度年間目標：100 件)
業務運営	①青少年に向き合う地域人材を養成します。 ②青少年育成者・団体ネットワークの推進を強化します。	①青少年育成に関する講座・研修等への参加者が延べ 600 人以上。(前年度年間目標：590 人以上) ②課題やニーズを把握し、反映したネットワークの立上げ：3 組織 (子ども食堂、青年リーダー、居場所関係)
職員育成	①青少年活動を多角的に支援できる職員の養成 ②安心して活動できる施設運営	①専門研修への延べ参加回数が 6 回以上。 1 回以上の内部研修の実施 ②避難誘導訓練 年 2 回、 AED 講習会 年 1 回
財務	利用料収入および事業収入の増収を図り、自主財源を高めます。	①利用料収入 143 万円 (前年度年間目標：170 万円) ②事業収入 123 万円 (前年度年間目標：98 万円)

《実績評価時公表項目》

目標設定の視点	運営目標	管理指標・数値	実績値	目標との差異	今後の取組 (改善計画)
利用者サービス	地域の青少年活動を支援するため、青少年育成に関する相談や情報提供などに対応します。	①施設稼働率:70% ②相談・情報提供業務年間:100 件	①55.4% ②71 件	①-14.6% ②-29 件	①特に和室の利用促進に努めます。 ②SNSを活用した情報発信や相談機能の存在のPRに努めます。
業務運営	青少年に向き合う地域人材を養成します。	①講座・研修等への参加者が延べ 600 人以上。 ②ネットワークの立上げ:1 組織	①738 人 ②1 団体 居場所づくり 全国フォーラム	①138 人 ②-2 団体	①今後も他団体や組織と連携を図り、参加者増と多様なテーマでの研修・講座の実施に努めます。 ②大交流会やフォーラムに集まった団体や支援者を中心に働きかけます。
職員育成	①青少年活動を多角的に支援できる職員の養成 ②安心して活動できる施設運営	①専門研修への延べ参加回数が 6 回以上。1 回以上の内部研修の実施 ②避難誘導訓練 年 2 回 AED 講習会 年 1 回	①外部 12 回 内部 1 回 ②避難訓練 1 回 AED 1 回	①なし ②なし	①外部研修に積極的に参加し、外部情報の収集及び職員の資質向上に努めます。 ②緊急時でも落ち着いて対応できるよう定期的実施します。
財務	利用料収入および事業収入の増収を図り、自主財源を高めます。	①利用料収入 143 万円 ②事業収入 123 万円	①121 万円 ②50 万円	①-19 万円 ②-73 万円	①和室の多目的利用を可能にするなど空き室対策を図ります。 ②研修・講座参加料金の見直しや、プリントルームのPRに努めます。

A 青少年活動を支援する事業 あ 施設貸与

事業名	実施日	件数	利用人数	備考
1 利用者案内、利用相談、受付 ●会議室、スタジオ等の貸出 ・貸し出し、利用相談 ・育成団体登録時の相談実施	4～3月	2,834件	37,918人	・件数内訳) 青少年 197件 育成団体 1,028件 一般 1,408件 法人利用 201件 ・登録件数内訳) 430件 青少年 43件 育成団体 80件 一般 307件
●HPによる情報提供	随時	・抽選予約状況(3か月前、毎月) ・スタジオ空室状況(2か月分・週1回更新および随時)		
2 施設での活動支援、安全・衛生環境管理 ●非常用物品の確認・点検 ・各室非常灯の点検、救急箱の点検 ・部屋貸し出し時の避難経路案内	毎月 随時	—	—	・地震および火災時の対応 非常灯表示 ・HPによる案内(帰宅困難者一時 滞在施設) ・備蓄品の購入と保管(水、軽食)
●避難訓練(消火器訓練等含む)の実施	①6/27 ②2/17	年2回	—	・AED講習会 ・避難訓練の実施(関内ホール協働)
●スタッフ救急研修	2/17	年1回	—	・避難訓練
●修繕等の実施 ・B2トイレ、パントリー水漏れ修理 ・和室の畳張替え	①10/29 ②10/1	年2回	—	・フラッシュバルブ交換 ・パントリー排水管調整 ・畳表面張替え
3 利用者サービス向上のための取り組み ●活動支援室(プリントルーム)事業	4～3月	396件	—	印刷機/コピー/ラミネート 製本作業等の活動支援事業
●館外貸出物品事業(着ぐるみ)	4～3月	10件	—	・地域活動や学校行事での利用
●利用サービスの向上 交流スペース、ワークルームの設置	通年	—	—	・交流スペースの開設 ・ワークルームの開設 ・貸出物品の整理・追加
●利用者アンケートの実施	3月	94件	—	・利用状況や利用者サービス等を 調査。
4 その他 関内ホール工事に伴う一時移転場所 からの引越し	引越し準備 9/22～9/31	—	—	・引越し業者打合せ ・会場レイアウト、配線等整備 ・再開に向けた貸室整備

A 青少年活動を支援する事業 え 相談・助言

事業名	実施日	件数	備考
1 青少年育成に関する相談・情報の収集と提供 ●相談・コーディネート	4～3月	71件	・窓口、電話、Eメール、受講者カード ・HP、広報紙等での発信
●ユースライブラリーの開設 HP等による情報提供	随時	—	・青少年指導者向けの研修・講座情報の提供 ・ボランティア情報提供 ・分野ごとの情報ファイリング（閲覧用） ・青少年に関する書籍の貸出 ・青少年指導者向けの研修・講座情報の提供 ・Facebook等のSNSでの情報発信
●相談・助言の対応の向上 (スタッフスキルアップ研修等)	①毎月 ②3/15 ③随時	—	【研修内容】 ①月例会議でのケースカンファレンス（毎月） ②LGBTの理解研修(人権) ③外部研修への職員の参加（10件） ・県立青少年センター専門部会専門委員 ・ハラスメント研修 ・青少年支援・指導者育成事業者会議 ・かながわ生活困窮者自立支援研修会 ほか

B 青少年を支える人材を育成する事業 い 講座・セミナー・育成

日常の関わりの中で包括的に青少年を支え、(潜在的な)課題に気づいた場合には必要な機関へつなぐことができ、『地域と機関とをつなぐ中間的な人材(ユースコーディネーター)』の広がりを目指し、企画・実施しています。

また、多様な視点からじっくり学ぶ連続講座、入門・実践・経験者など対象別の講座、取組みを充実するためのスキルアップ講座、現在の青少年を取り巻く課題を考えるシンポジウムなど、学びたい項目・環境に合わせた研修体系となっています。

事業名 <>は事業の柱名	実施日	参加人数	備考
<青少年育成活動初任者養成事業> 「イマドキの子ども理解と支援」 ・講師：守田 洋（よこはまユース） ・参加費：500円	5/24	49人	青少年と関わる初任者向けの研修として新規に実施しました。時代の移り変わりや青少年を取り巻く環境や課題の変化についての講義をもとに、青少年との向き合い方についてグループワークを通して参加者同士で考えを共有しました。また、参加者には、放課後デイのスタッフの参加が多く見られました。
<青少年育成活動初任者養成事業> 「発達障がいの子どもの理解と支援講座」 ・講師：鈴木豊子（東部療育センター） ・参加費：1,000円	7/18	48人	療育センターの役割を理解するとともに、発達障がいの特性や障がい児の保護者の気持ちの理解やケアの仕方など、当事者および家族との向き合い方などについて具体的な事項を学ぶ機会となりました。
<青少年育成活動初任者養成事業> 「コーチング入門講座」 ・講師：川本正秀氏（共育コーチング研究会） ・参加費：1,000円	10/17	10人	コーチングの手法を学ぶことで、子ども・若者の潜在的な力を引き出し、青少年支援活動を充実していく講座を実施した。
<青少年育成活動初任者養成事業> 「体験プログラム講座」 すぐに役立つ、科学工作、科学あそび ①科学工作編 ②科学あそび編 ・講師：岩立直子（くりの木倶楽部） ・参加費：1,000円	①9/2 ②9/14	①11人 ②14人	キッズクラブや学童などで提供するプログラムが充実するように、身近な道具や材料を活用した工作や遊びの講座を実施しました。 日曜日開催を試みた結果、小学校の教員の参加もあり、参加者層の広がりを見ることができました。

<p><青少年育成活動初任者養成事業> ユースチャレンジ「きずな町内会」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事前研修会、事前準備、イベント当日 ・参加費：無料 <p>※横浜市町内会連合会（横浜市市民局）共催</p>	8/16-17	31人 ボランティア数	<p>市民局と連携して、青少年に地域活動へ目を向けてもらうことを目的に、町内会活動の模擬イベントを実施しました。また、高校生や大学生にはボランティアとして活動を支援してもらい、地域活動を支える側を体験する機会を提供しました。</p>
<p><青少年育成活動を充実するための研修・講座> 「青少年の居場所づくり講座」(連続講座)</p> <ol style="list-style-type: none"> ①共に生きる（共生）とは？ ②学校内居場所の意味とは？ ③もうひとつの学び ④子ども・若者とどうつきあうか ⑤居場所をどうつくるか？ <ul style="list-style-type: none"> ・参加費：無料 <p>※横浜市立大学エクステンション講座と連携</p>	<ol style="list-style-type: none"> ①2/1 ②2/8 ③2/15 ④2/22 ⑤3/1 	<ol style="list-style-type: none"> ①21人 ②25人 ③21人 ④22人 ⑤18人 <p>計107人</p>	<p>今年度は横浜市立大学のエクステンション講座と連携して実施しました。これまでの“成功事例に学ぶ”だけではなく、居場所づくりの意味や意義について参加者全員が意見を交わし、「青少年の居場所」を深く考える機会となりました。</p> <p>また、横浜市立大学と連携することで、「青少年の居場所づくり」では著名な講師の方々をラインナップすることができました。</p>
<p><青少年育成活動を充実するための研修・講座> 「青少年の居場所づくり全国フォーラム」</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆基調講演 講師：萩原建次郎 ◆分科会報告者等によるリレートーク ◆分科会（選択制） ◆全体会（総括） ・参加費：無料 <p>※居場所づくりフォーラム実行委員会と連携</p>	3/16	108人	<p>全国から子ども青少年に関わる方々が集まり、各地方の取り組みを共有するとともに、基調講演や分科会を通して、日頃の実践をブラッシュアップする機会を提供しました。分科会では①「何が貧困」、②「生きづらさからのリスタート」、③「若者支援のネットワークづくり」、④「多世代交流と子どもの育ち」といった多様なテーマでの実践報告がありました。</p>
<p><青少年育成活動を充実するための研修・講座> 「コーチングステップアップ研修」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講師：川本正秀氏（共育コーチング研究会） ・参加費：1,000円 	10/24	7人	<p>各自の実践の中で出てきた課題を洗い出し、さらに日常的に使えるスキルとしていくためのステップアップ講座を実施しました。</p>
<p><青少年育成活動を充実するための研修・講座> 「リスクマネジメント研修」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講師：橋本みち子（YPCN） ・参加費：無料 <p>※横浜にプレイパークを創ろうネットワークと連携</p>	3/15	30人	<p>横浜にプレイパークを作ろうネットワークと連携して、片倉うさぎ山プレイパークを会場に実践的なロールプレイ研修を行いました。実際に事故が起きた時の対応や事故に至る危険要因の探し方など、現場を活用することで深い学びを得る機会となりました。</p>
<p><青少年育成活動を充実するための研修・講座> 広報力アップ講座 「これで安心、SNSを活用した広報・PR」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講師：杉浦裕樹（コミュニケーションラボ） ・参加費：1,000円 	<ol style="list-style-type: none"> ①2/20 ②2/27 	<ol style="list-style-type: none"> ①23人 ②22人 	<p>新規の取り組みとして、現在の情報発信の主流である「SNS」を活用した広報の広報力や掲載方法、各種SNSの特性など具体的な内容を学ぶことができました。また実際に参加者が、その場でSNSに投稿する等の実践講座も展開しました。</p>
<p><青少年育成活動を充実するための研修・講座> 「魔法のホワイトボード・ミーティング」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講師：岸本伴恵（富士通エフサス） ・参加費：無料 	6/23	24人	<p>青少年に関わる団体やグループにおける会議や打合せて等が効果的に行えるよう、身近なホワイトボードを活用した会議の進め方講座を開催しました。</p>

<p>＜青少年育成活動を充実するための 研修・講座＞ 「青少年団体、青少年機関との協働事業」</p>	<p>通年</p>	<p>4 団体</p>	<p>青少年団体や施設との協働により、幅広い人材の養成を図りました。 ①NPO法人よこはまチャイルドライン 「子ども支援者養成講座2018」 ②（一財）横浜市母子寡婦福祉会 「養育費セミナー」 ③日本作法会 横浜関内教室 「心を育てる講座 こども作法」 ④横浜 PTA 新聞研究会「新聞づくり講習会」</p>
<p>＜指導者・支援者相互の交流を通じて課題を 解決する研修・講座＞ 「よこはまユース・ゼミ」</p> <p>①高校生の就職とその後（SCC） ②児童館での実践事例 ③『学校の青少年』の世界（SSW） ④『青少年の心理』の世界（臨床心理市） ⑤『発達心理学』の世界（臨床心理市）</p> <p>・参加費：無料 ※②は居場所づくり勉強会と連携</p>	<p>①12/18 ②1/25 ③3/18 ④3/23 ⑤3/23</p>	<p>①7 人 ②24 人 ③5 人 ④8 人 ⑤8 人</p> <p>計 52 人</p>	<p>青少年活動者間のゆるやかなネットワークづくりを目的に、メンバーを固定せずに青少年に関わる人たちが気軽に集まり・学ぶ機会を設けました。今年度は、スクールキャリアカウンセラーや、青少年の発達心理などの旬な話題やテーマを取り上げて実施しました。</p>
<p>＜指導者・支援者相互の交流を通じて課題を 解決する研修・講座＞ 「第 5 回 横浜子ども・青少年に関わる活動 関係者の大交流会」</p> <p>・参加費 500 円（資料代） *「横浜子ども・青少年に関わる活動関係者の 大交流会」を開く会との共催</p>	<p>12/7</p>	<p>88 人</p>	<p>青少年に関わる活動を行っている団体が集まり、課題共有や意見交換を行いました。育成センターは実行委員会を支援し、事務局として広報や参加者集約、当日運営補助を担いました。</p>
<p>＜青少年が抱える課題の解決を支援する人材 の育成＞ 「ユースコーディネーターの養成研修」</p> <p>講 師 ①中央児童相談所 石神 光 ②県警少年相談・保護センター 田原ともえ ③横浜市教育委員会 渡邊 香子 ④よこはまユース 守田 洋</p> <p>・参加費：無料</p>	<p>①2/21 ②2/28 ③3/7 ④3/14</p>	<p>①31 人 ②30 人 ③35 人 ④18 人</p> <p>計 114 人</p>	<p>・青少年を取り巻く現代の課題について知り、青少年を地域や相談機関などの社会資源につなぐことができる人材を育成することを目的に実施しました。 ①「児童虐待の早期発見・予防のために」 ②「こどもの問題行動と被害の現状を知る」 ③「スクールソーシャルワーカーから見た青少年の課題ーアセスメントからの課題解決ー」 ④「フォローアップ講座」</p>

H30年度 育成センター施設管理業務報告 【10月～3月】

○建築物の保守管理

項目	機器及び設備名称	実施内容	回数	実績	分担
内部仕上げ	壁面・天井・床・等	目視点検	1日1回以上		育成C

○空調・電気・消防設備等保守点検

項目	機器及び設備名称	実施内容	回数	実績	分担
空調設備	外観の状態	目視点検	1日1回以上		関内H
	自動運転盤の異常の有無	目視点検	1日1回以上		関内H
	電流値の適正	目視点検	1日1回以上		関内H
	モーターの異常の有無	目視点検	1日1回以上		関内H
	回転音異常の有無	目視点検	1日1回以上		関内H
	ファンベルトの異常の有無	目視点検	1日1回以上		関内H
	ドレンパンの異常の有無	目視点検	月1回	11/12、12/10、1/15 2/5、3/11	関内H
	フィルターの汚れ	点検・清掃	月1回	11/12、12/10、1/15 2/5、3/11	関内H
電気設備	電気設備(受電、配電)	年次点検	年1回(9月)		関内H
	自家用発電設備	年次点検	年1回(9月)		関内H
消防設備	消防設備	機器・総合点検	年2回(9月、3月)	2/18、3/25	関内H
中央監視装置	中央監視装置	本体・制御点検	年2回(7月、2月)	2/5	関内H
エレベーター設備	エレベーター設備	月例点検	月1回	10/9、11/12、12/10、 1/15、2/5、3/11	関内H
	カーリフト	総点検	年1回(6月)		関内H
防火シャッター設備	防火シャッター設備	定期点検	年1回(5月)		関内H
自動ドア設備	自動ドア設備	定期点検	年4回(12,3月)	12/10、3/11	関内H

○環境衛生業務

項目	機器及び設備名称	実施内容	回数	実績	分担
環境衛生管理	室内空気環境測定		年6回(奇数月)	11/13、1/17、3/4	関内H
	給水飲料水水質検査		年2回(8月、2月)		関内H
	害虫駆除	薬剤散布等	年2回(8月、2月)	2/4	関内H
	受水槽清掃	物理的清掃	年1回(6月)		関内H
	残留塩素測定	試薬による点検	1日1回		関内H
	高置水槽清掃	物理的清掃	年1回(6月)		関内H
	雑排水槽清掃	物理的清掃	年2回(10月、2月)	2/18	関内H
	排水管清掃			特になし	関内H

○備品等の保守管理

項目	協定の内容	実績	分担
事務備品の管理	施設の運用に支障をきたさないよう適正に管理する	日常点検とともに実施	育成C
消耗品の管理	施設の運用に支障をきたさないよう適正に管理する	日常点検とともに実施	育成C

○清掃業務

項目	機器及び設備名称	実施内容	回数	実績	分担
日常清掃		日常清掃	1日1回以上		関内H
定期清掃	床清掃(洗浄・ワックス塗布)	ワックス塗布	年5回	11/12、3/25	関内H
	照明器具清掃	照明器具、排気口清	年1回	2/18	関内H
	ガラス清掃	ガラス清掃	年6回(奇数月)	11/12、1/15、3/25	関内H

○保守管理業務

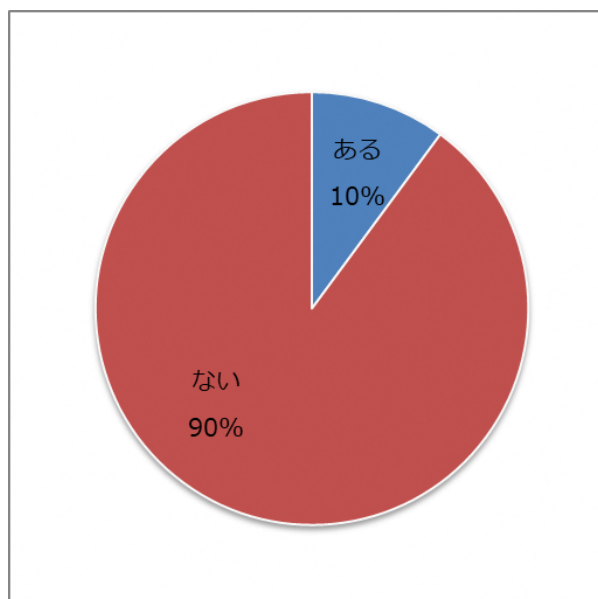
項目	機器及び設備名称	実施内容	回数	実績	分担
常駐警備		巡回警備	1日4回以上		関内H
機械警備		セコム	毎日(夜間)	警戒警備	関内H

平成 30 年度利用者アンケート集計結果

いつも横浜市青少年センターをご利用いただき、ありがとうございます。
 また、アンケート期間中は回答にご協力いただき誠にありがとうございました。
 お陰をもちまして、94 件の回答をいただくことができました。
 育成センターの機能についてお寄せいただいたご意見を次のようにまとめました。
 ※集計に未記入は含めません。 (アンケート期間：2019 年 3 月 1 日～3 月 31 日)

2. (1) 育成センター主催の研修・講座に、参加したことがありますか？

ある	9	10%
ない	81	90%
未記入	5	
計	95	100%



どんな研修・講座に参加したい
 と思いますか。

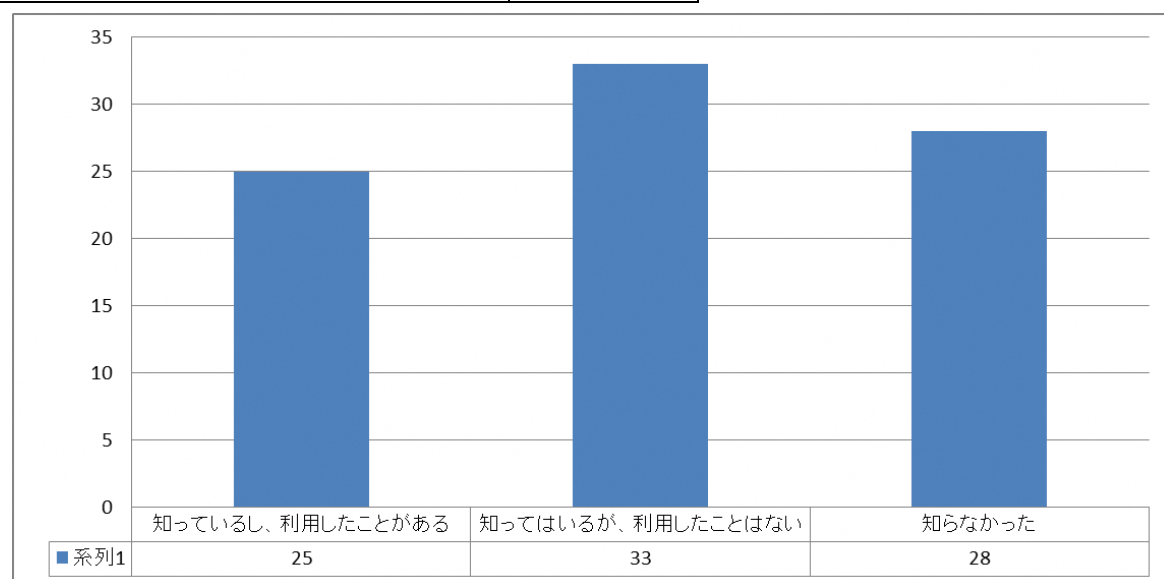
アドラー心理学、幸せに生きる
 音楽講座
 文化活動講座

(2) ホームページでは研修・講座や空き室状況の情報発信を行っていることを知っていますか。

知っているし、利用したことがある	25
知ってはいるが、利用したことはない	33
知らなかった	28
未記入	9
計	95

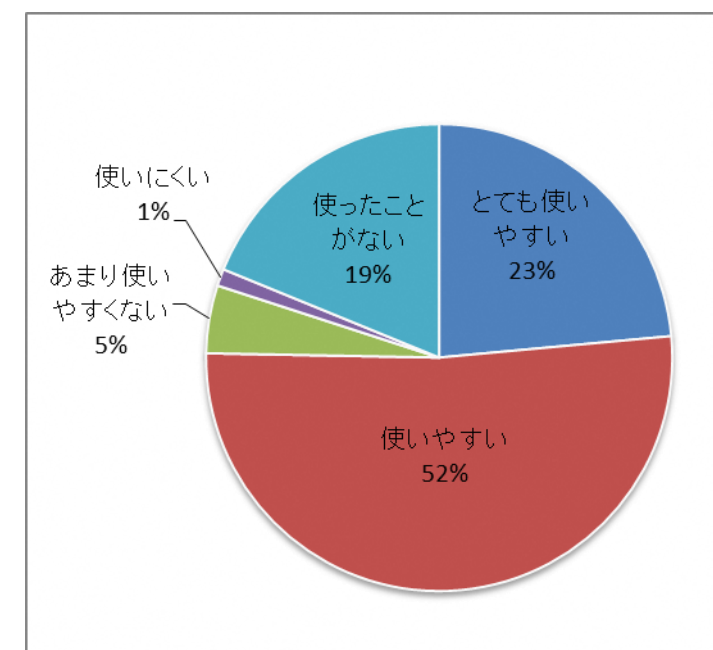
どんな情報が必要ですか

空き室情報更新を頻繁にしてほしい。
 休館日情報を目立つように表示
 空き室状況



3. (1) 育成センターの設置機材や貸出機材は使いやすかったですか？

とても使いやすい	20	24%
使いやすい	44	52%
あまり使いやすくない	4	5%
使いにくい	1	1%
使ったことがない	16	19%
未記入	10	
計	95	100%



(2) 上記質問の回答理由をご記入下さい。

<とても使いやすい>

- ・大きい鏡があるから
- ・貸し借りが簡便
- ・施設が充実している
- ・清潔
- ・対応が親切
- ・使い方が分かりやすい
- ・機材が使いやすく、部屋が広く、譜面台が用意してあるから

<使いやすい>

- ・使いやすいが、知らぬ間にエフェクター機能のスイッチが入っていることがあり、よくわからなかった。
- ・配線など最初戸惑った。テレビ裏面 DVD 接続コードの 3 色が分かりにくいのでカラーテープでも貼ってほしい
- ・使いやすく、セッティングしやすい
- ・ドラムパーツ類の故障対応希望・メンバー全員が鏡を使用でき、フォーム矯正しやすい
- ・ポットや台所を借りるがきちんとしていて使いやすい
- ・新しくなってよかった
- ・スタッフの方からのアドバイス
- ・色々な機材が揃っている
- ・使い方に慣れた・ポピュラーな機種である
- ・機材が揃っている・手軽
- ・無料で使用できるから
- ・きれい
- ・ハンドマイク、アンプの操作が楽
- ・きれいに設置されて使いやすい
- ・給湯室や洗面所がいつもきれい・パワポの設置方法まで教えてもらい助かった

<あまり使いやすくない>

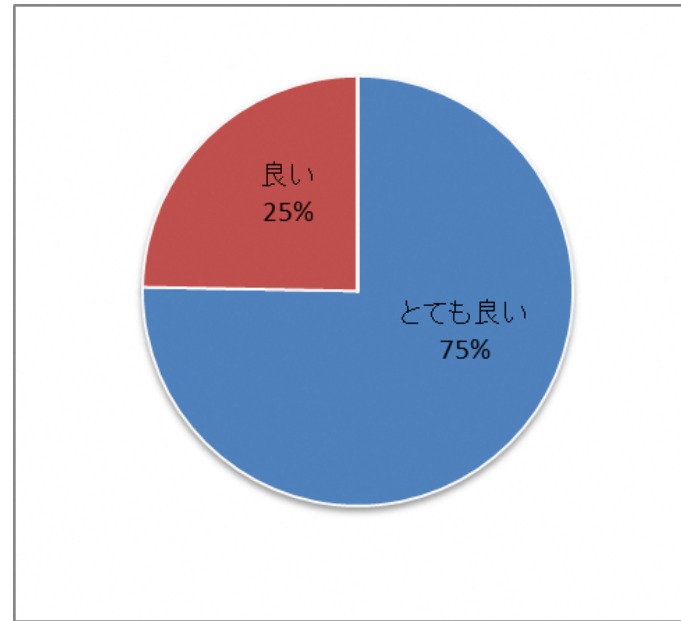
- ・ピアノが電子ピアノになってしまったのが残念
- ・入室時、室内が真っ暗なので点灯スイッチが分かりにくい。
- ・アップライトピアノと電子ピアノとでは音の響きが違うため合唱と合わせにくい。

<使ったことがない>

- ・ホワイトボード以外使用しない。
- ・必要がないため

4. (1) 受付窓口についてお伺いします。職員の対応（話し方、要望への対応）はいかがでしたか？

とても良い	67	75%
良い	22	25%
普通	0	0%
あまり良くない	0	0%
良くない	0	0%
未記入	6	
計	95	100%



(2) 上記質問の回答理由をご記入下さい。

<とても良い>

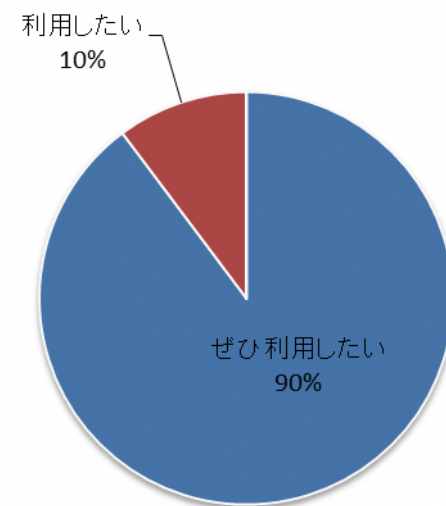
- ・あいさつ
- ・いつも感じがよい
- ・受け答えが良い。対応が円滑
- ・手際よい
- ・機材の取り扱い説明が丁寧
- ・優しい
- ・利用が初めてだが、使い方の説明が優しかったから
- ・親切、丁寧
- ・常に気持ちよく対応
- ・笑顔で対応くださるので・何度も同じことを聞いてこないから
- ・急に来たのに色々教えてくださいました
- ・職員の対応が素晴らしい

<良い>

- ・いつも丁寧に対応してくれるから
- ・笑顔で対応してくれるから
- ・気持ち良い対応だから
- ・人により若干の違いあり

(3) 今後も当センターを利用したいと思いますか。

ぜひ利用したい	80	90%
利用したい	9	10%
機会があれば利用したい	0	0%
あまり利用したくない	0	0%
もう利用したくない	0	0%
その他	0	0%
未記入	6	
計	95	100%



(4) 当センターに対する要望やお気づきの点があればご記入下さい。

Wi-Fi や wimax2 の設置を希望
そうじができるモップがあると助かります。
決まった曜日の活動のため 3 か月前の同曜日予約をしたい
もう少し長期間で予約が取れるとよい
予約期間を 3 か月から 6 か月に延長希望
壊れた機材を早く修理してほしい
和室のふすま、他の団体が使わないなら外したままを希望(子どもの安全のため)
トイレの案内を分かりやすくしてほしい
トイレの改修
和室に炉を切ってほしい。国際交流にも役立つことができるだろう。
キャンセル時の発番の取り組みは良いと思った。
駅近・安価でよい。
料金も安く大変良いのでこのままで体制であってほしい。
現在のままで良い。

※優先順位をつけ、対応可能な要望は速やかに行ってまいります。

体系	項目	自己評価
A 青少年活動を支援する事業	あ 施設の貸与 諸室および物品の貸出	<p>関内ホールの改修工事に伴う一時移転があり仮施設では活動制限もあったため、利用者が離れてしまいました。その影響もあり、関内ホールでの運営再開後の稼働率の上昇は見られませんでした。HPやSNS等を活用して広報を行った結果、2月3月の稼働率が65%を超えるなど、少しずつ利用回復の兆しが見えてきています。</p> <p>引き続き、活動しやすい環境を整備していくとともに、より多くの青少年指導者の団体に利用していただけるように、貸室の貸出方法や活用方法を工夫し利用増に向けて取り組んでいきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・29年度：利用件数 3,408件／利用稼働率 62.1% ・30年度：利用件数 2,834件／利用稼働率 55.4%
	え 相談・助言 相談・コーディネート	<p>昨年度の相談件数40件から今年度は71件になりました。件数増加の要因は、主催する研修・講座の終了後に相談・質問時間を設けて対応したことだと考えます。参加者が抱える地域課題や研修講座への参加を通して新たに課題と感じた部分に対して、丁寧に対応できたと感じています。相談事業では相談窓口としての機能を整理し、青少年育成者や市民にとって分かりやすい窓口となるよう努めていきます。</p>
	情報提供（ユースライブラリーの開設ほか）	<p>育成センターが実施する研修・講座に関連する書籍を提供することで、受講者の学びを深め、活動の充実につながっていると考えます。地域の青少年活動情報を発信するとともに、施設運営や研修・講座等で蓄積したノウハウや事例、青少年に関する書籍の情報といった新たな視点で情報発信できるように努めていきます。</p>
B 青少年を支える人材を育成する事業	い 講座・セミナー・育成 青少年育成活動初任者養成事業	<p>新規事業の「イマドキの子ども理解と支援」には、従来の放課後児童育成や地区センターのスタッフのほかに、放課後等デイサービスからも多くの参加があり、青少年に関わる人材育成の必要性が分野を越えて高まっていると感じます。</p> <p>また、「発達障がい理解研修」では、講師を療育センター職員に変えたことで、基礎知識に加え地域資源である施設の活用方法も伝えられるなど新しい視点を提供することができました。一方、参加減少が見られる継続研修もあり、社会的ニーズと人材育成の観点を踏まえて事業の整理を行っていきます。</p>
	青少年育成活動を充実するための研修・講座	<p>「青少年の居場所づくり講座」は、横浜市立大学のエクステンション講座と連携して実施しました。成功事例に学ぶだけでなく、「居場所」の必要性や役割など本質を深く掘り下げて考える機会となり、新たな学びを提供することができました。そのほか、「SNSを活用した広報PR講座」といった最新テーマを提供する一方、「ホワイトボードミーティング」など日常的な活動で活用できるスキルアップ講座も実施し、青少年指導者の幅広いニーズに対応できるように工夫しました。</p>
	指導者・支援者相互の交流を通じて課題を解決する研修・講座	<p>大交流会に関しては、年々、新規参加者・団体も増え、地域の青少年育成関係者同士が新たなつながりを作る機会を提供できていると思います。今後、事業を通して生まれたつながりが、具体的にどのような連携・協力を生み出しているのかを成果として把握することで、ネットワークがより有効に機能できるような事業展開を目指します。</p>
	青少年が抱える課題の解決を支援する人材の育成	<p>継続して「ユースコーディネーター養成研修」を実施。これまでの児童虐待や問題行動への対応に加え、スクールソーシャルワーカーをテーマに加え、学校での対応や課題も把握できるよう工夫しました。参加者アンケートでも高い評価を得ています。変化の激しい青少年課題に対応できるよう、アンテナを高く持ちより良い研修が提供できるよう努めていきます。</p>

平成30年度 横浜市青少年育成センター 収支予算書及び報告書

収入の部 (税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	38,685,294		38,685,294	38,685,294	0	横浜市より
利用料金収入	1,430,000		1,430,000	1,209,450	220,550	施設利用料金収入
自主事業 (指定管理料充当の自主事業) 収入	755,000		755,000	268,333	486,667	講座・研修参加費ほか
自主事業収入	170,000		170,000	0	170,000	
雑入	307,000	0	307,000	236,041	70,959	
印刷代	240,000		240,000	236,041	3,959	コピー、印刷代
自動販売機手数料	0		0	0	0	
駐車場利用料金収入	0		0	0	0	
その他 ()	67,000		67,000		67,000	
収入合計	41,347,294	0	41,347,294	40,399,118	948,176	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	25,543,000	0	25,543,000	23,410,837	2,132,163	
給与・賃金	21,133,440		21,133,440	19,465,750	1,667,690	役員報酬含む(施設連携事業費400,000)
社会保険料	3,500,000		3,500,000	2,652,219	847,781	
通勤手当	425,000		425,000	375,744	49,256	
健康診断費	47,000		47,000	20,803	26,197	
勤労者福祉共済掛金	30,000		30,000	18,000	12,000	
退職給付引当金繰入額	407,560		407,560	878,321	470,761	
事務費	609,014	0	609,014	796,146	187,132	
旅費	0		0	34,610	34,610	職員の出張旅費
消耗品費	196,014		196,014	472,548	276,534	交流スペース用デスク、事務用文具、スタジオ用物品ほか
会議賄い費	0		0	0	0	
印刷製本費	47,000		47,000		47,000	
通信費	14,000		14,000	21,420	7,420	引越しに伴う運搬費等
使用料及び賃借料	0	0	0	3,900	3,900	
横浜市への支払分	0		0	0	0	
その他	0		0	3,900	3,900	
備品購入費	200,000		200,000	186,386	13,614	電子ピアノ、液晶モニター、事務用ノートパソコン
図書購入費	0		0	0	0	
施設賠償責任保険	20,000		20,000	5,500	14,500	施設賠償保険代
職員等研修費	12,000		12,000		12,000	
振込手数料			0	23,182	23,182	給与振り込み等に係る手数料
リース料	100,000		100,000		100,000	
手数料	20,000		20,000	48,600	28,600	アルバイト募集に係る委託手数料
地域協力費	0		0	0	0	
事業費	6,037,680	0	6,037,680	6,706,377	668,697	
自主事業 (指定管理料充当の自主事業) 費	5,867,680		5,867,680	6,706,377	838,697	教室(講座)事業、チラシ印刷、相談事業、活動支援事業、調査研究費
自主事業費	170,000		170,000	0	170,000	
管理費	6,629,000	0	6,629,000	7,085,358	456,358	
光熱水費	515,000	0	515,000	475,289	39,711	*下半期は施設負担金として、設備保全費に一括計上(関内ホール)
電気料金	459,000		459,000	475,289	16,289	上半期の仮施設に係る電気代
ガス料金	0		0	0	0	
水道料金	56,000		56,000		56,000	
清掃費	0		0	0	0	
修繕費	100,000		100,000	530,864	430,864	B2Fトイレ工事、和室畳工事
機械警備費			0	0	0	施設負担金として、設備保全費に一括計上(関内ホール)
設備保全費	6,014,000	0	6,014,000	6,079,205	65,205	
空調衛生設備保守	0		0	0	0	
消防設備保守	0		0	0	0	
電気設備保守	0		0	0	0	
害虫駆除清掃保守	0		0	0	0	
駐車場設備保全費	0		0	0	0	
その他保全費	6,014,000		6,014,000	6,079,205	65,205	施設負担金、廃棄物処理費ほか(関内ホール第3四半期分含む)
共益費	0		0	0	0	
公租公課	2,400,000	0	2,400,000	2,400,400	400	
事業所税	0		0	0	0	
消費税	2,400,000		2,400,000	2,400,000	0	消費税
印紙税	0		0	400	400	収入印紙
その他 ()	0		0	0	0	
事務経費 (計算根拠を説明欄に記載)	128,600	0	128,600	0	128,600	
本部分			0	0	0	本部管理経費
当該施設分	128,600		128,600	0	128,600	
二一ズ対応費	0		0	0	0	
支出合計	41,347,294	0	41,347,294	40,399,118	948,176	
差引	0	0	0	0	0	

自主事業費収入	998,000			1,307,237		
自主事業費支出	6,900,000			7,966,723		
自主事業収支	5,902,000			6,659,486		

管理許可・目的外使用許可収入	0			0		
管理許可・目的外使用許可支出	0			0		
管理許可・目的外使用許可収支	0			0		

育成センター職員研修等への参加一覧

(1)外部研修

	実施日	内 容	場 所	参加者
1	4月13日	神奈川ゆめ奨学金選考委員	神奈川ゆめコープ	富岡
2	6月9日	施設管理者を対象とした出前研修	緑スポーツセンター	富岡
3	9月5日	ハラスメント研修	フォーラム戸塚	富岡
4	11月13日	首都圏中高生ネットワーク施設長会議	ゆう杉並	富岡
5	11月14日	青少年支援・指導者育成事業者会議	県立青少年センター	富岡
6	12月22日	ともえちゃんOpen Mic Dec.2018	カルッツかわさき	本田
7	1月21日	かながわ生活困窮者自立支援ネットワーク研修会	万国橋会議センター	富岡
8	2月2日	Rainbowスペースの歩み(多文化活動報告会)	JICA横浜	富岡
9	2月14日	体験の言語化研修会	さくらリビング	伊藤
10	2月15日	首都圏中高生ネットワーク施設長会議	ひばりが丘児童センター	富岡
11	2月14日	「なんとかしよう！子どもの貧困」(講演会)	崎陽軒本店	富岡
12	年4回	神奈川県青少年指導者養成協議会(専門委員)	県立青少年センター	本田

(2)法人内部研修

	実施日	内 容	場 所	参加者
1	1月16日	人権研修(LGBT理解研修)	育成センター	職員全員